

信州大学 チームほっこり

『信州木材で足元に温もりを』

信州大学医学部の学生を中心に結成された「チームほっこり」は、寒冷な冬の講義室で足元が冷えるという日常の困りごとに着目し、信州産木材を使った省エネ対策のアイデアを探究。学生自身の関心と学際的な連携を活かしながら、温もりと環境への配慮を両立する実験と提案を行っています。

寒さの課題と木材活用アイデア

冬場の冷たいコンクリート床に悩まされていた学生が、省エネアイデアコンペに応募するために着目したのが「木材」の断熱性でした。信州大学農学部の演習林から採れた間伐材を活用し、足元に敷いて温度を比較。サーモグラフィーを用いた測定では、木材の上では足元の温度が1℃上昇することが確認され、省エネ効果と居住性向上の両立可能性が示されました。

多分野連携による実践と展望

木材の加工は農学部、温度測定には工学部、健康への影響には医学部の専門知識が活用され、学内横断的な協力体制が構築されました。今後は反射材の使用や断熱素材の工夫などを加え、さらなる温度上昇を目指す計画が立てられています。持続可能なキャンパスライフの実現に向けて、学生主導で取り組まれている好例です。